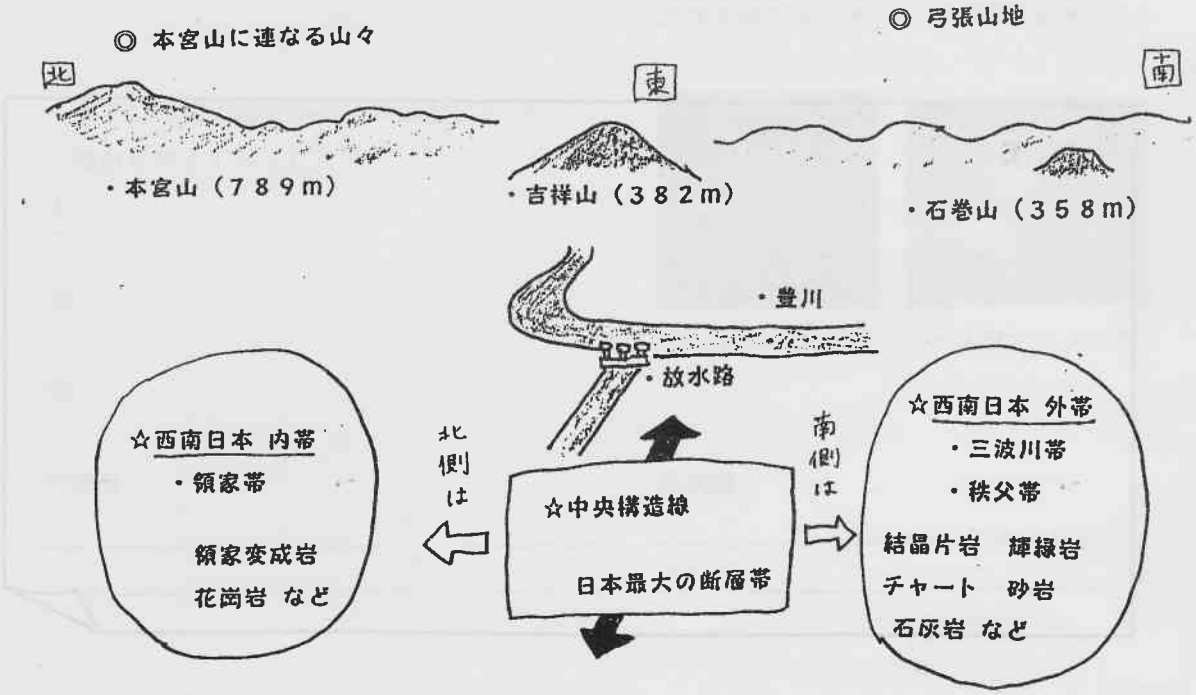
# 豊川放水路自然観察会　　2008年6月1日(日)

## 「ヨシ原にわたる初夏の風を感じよう！」　　豊川市行明町

主催:　NPO法人 東三河自然観察会

後援:　豊川市

## 山々を見渡そう



## 豊川放水路取入れ口周辺（Googleより転載）

## 水の中の生き物たち

**放水路の水際へ下りてみましょう。**

水の中にもいろいろな生き物が生活しています。
ハゼの子ども、メダカ、貝類、カニの仲間などなど！！
真水の生き物と海水の生き物が一緒に見られる所。
汽水と呼ばれる特別な場所。

カワニナ

**貝類を探してみましょう。**

カワニナ・チリメンカワニナ・イシマキガイ・カワザンショウガイなどの巻貝と
ヤマトシジミ（二枚貝）
貝類以外の生き物は何が見られるかな？

カワザンショウガイ

●水辺の植物１　ヨシ原（アシ原）

豊川放水路は 1965 年に完成した蛇行しない人口の川です。河床はコンクリートです。そんな場所でもヨシ原が見られます。

＜ ヨシ原のでき方 ＞

川床に土砂が堆積→ヨシの種子が付着し生長→根元にさらに土砂が集まり堆積→ヨシ群落ができ小動物も増える。

※国土交通省によりヨシ原再生事業も行われました。

＜ ヨシ原の価値 ＞

・オオヨシキリやメダカ、カニ類などの貴重な生息地（食と住）

・水質浄化機能（三河湾最奥部の入り江になるため効果大）

①ヨシによる窒素、リンの吸い上げ

②微生物による分解　等

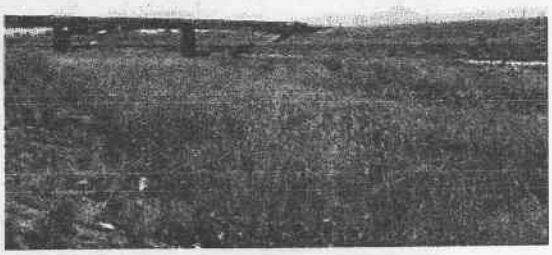
ヨシ（アシ）　葦（芦、蘆、葭）

イネ科 ヨシ属

学名：Phragmites australis

；P communis

分布：世界中の暖帯～亜寒帯にかけての湿地・川岸等



メモ

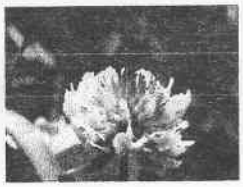
.....

.....

●水辺の植物２　帰化植物

川辺には在来種（日本古来の植物）も見られますが、外来種も多く見られます。

ムラサキツメクサ



シロツメクサ

＜ ここに外来の植物が多いのはなぜ？ ＞

理由を考えてみましょう。

①

②

③

アレチハナガサ

コメツブツメクサ

外来種

.....

.....

在来種

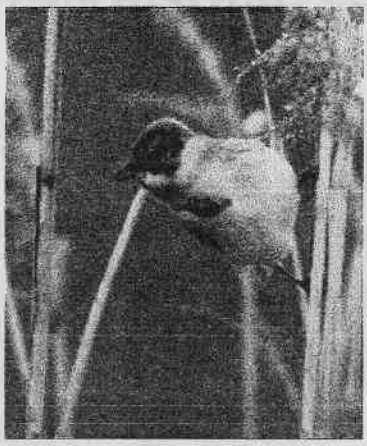
.....

.....

**ヨシ原の野鳥**　46種の野鳥を確認（東三河自然観察会の調査05年3月～06年1月）

オオヨシキリ（ウグイス亜科）　夏鳥

オオジュリン（ホオジロ科）　冬鳥



この周辺には、どんな鳥がいるかな？

ヨシ原は野鳥がすみやすいところ？

メ　モ